

「フランス語第Ⅳ」講座番号一覧表

(担当者名の50音順で掲載)

| 講座番号 | 科目名 | 担当者 | 曜日時限 |
|------|-------------|----------------------|------|
| 151 | フランス語第Ⅳ(AⅡ) | クレメール 小椋, アレクサンドラ J. | 木 2 |
| 152 | フランス語第Ⅳ(AⅡ) | クロズ・山口, エリアンヌ | 金 4 |
| 153 | フランス語第Ⅳ(AⅡ) | 坂口 周輔 | 金 5 |
| 154 | フランス語第Ⅳ(AⅡ) | 関 幸太郎 | 月 1 |
| 155 | フランス語第Ⅳ(AⅡ) | ボダン, エマニュエル | 木 4 |
| 201 | フランス語第Ⅳ(B) | 家山 也寿生 | 金 3 |
| 202 | フランス語第Ⅳ(B) | ヴァリエンヌ, コリンヌ | 木 3 |
| 203 | フランス語第Ⅳ(B) | 熊木 淳 | 月 4 |
| 204 | フランス語第Ⅳ(B) | 黒木 朋興 | 金 5 |
| 205 | フランス語第Ⅳ(B) | クロズ・山口, エリアンヌ | 金 3 |
| 206 | フランス語第Ⅳ(B) | 関 幸太郎 | 水 4 |
| 207 | フランス語第Ⅳ(B) | ブレッフュエル, ロミュアルド | 月 1 |
| 208 | フランス語第Ⅳ(B) | ボダン, エマニュエル | 金 4 |
| 209 | フランス語第Ⅳ(B) | 山上 昌子 | 水 5 |

フランス語第Ⅳ(AⅡ)

フランス語

フランス語第Ⅳ(AⅡ) 1単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(AⅡ) 1単位(秋学期)

フランス語でコミュニケーション

春学期・秋学期: 木2

クレメール 小椋, アレクサンドラ J.

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業の目的はコミュニケーション能力を伸ばすことです。特に、話す・聞くに焦点をあわせて能力を向上させます。教科書のアクティビティで聞き取りと口頭練習を行います。また、新しい文型と語彙を多く身につけます。少グループに分かれてフランス語を練習することで、言語能力にさらに自信を持つことが可能となります。さらに教科書を用いて文法も学ぶと同時に、書く・読むのアクティビティも行います。

授業の計画:

春学期:

第1回: Parler de soi et des autres - 1 (L4)

第2回: Parler de soi et des autres - 2 (L5)

第3回: Parler du quotidien (L6)

第4回: Décrire une personne (L7)

第5回: Acheter des vêtements (L8)

第6回: Parler de ce qu'on mange (L9)

第7回: まとめ L4 ~ L9

第8回: Situation dans l'espace (L10)

第9回: Demander son chemin (L11)

第10回: Poser des questions (L12)

第11回: Révisions heure et temps (L13)

第12回: Parler de sa journée(L14)

第13回: まとめ L10 ~ L14

第14回: まとめ/試験

その他: 課題/補講

秋学期

第1回: 春学期の復習

第2回: Parler du passé récent (L15)

第3回: Parler d'expériences et activités passées (L16)

第4回: Parler d'expériences et activités passées (L17)

第5回: Parler d'expériences et activités passées (L18)

第6回: Comparer (L19)

第7回: まとめ L15 ~ L20

第8回: Parler d'habitudes passées (L20)

第9回: Parler des loisirs (L21)

第10回: Parler de la santé (L22)

第11回: Inviter(L23)

第12回: Réserver (L24)

第13回: まとめ L15 ~ L24

第14回: まとめ/試験

その他: 課題/補講

成績評価方法:

授業内試験および平常点(課題、スピーキング、授業参加など)により評価します。

テキスト(教科書):

Durrenberger, Vincent. Kitamura, Ayako (2020). MAESTRO 1. éditions ASAHI

ISBN: 978-4-255-35307-4

担当教員から履修者へのコメント:

授業は基本的にすべての時限を対面で行います。

3回以上の欠席は認めません。

今まで学習したフランス語を使える良い機会だと思ってください。

毎回の予習、復習は勿論のこと、授業への積極的な参加が望まれます。

質問・相談:

授業内

フランス語第Ⅳ(AⅡ) 1単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(AⅡ) 1単位(秋学期)

ドラマでフランス語を学ぶ!

春学期・秋学期: 金4

クロズ・山口, エリアンヌ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

フランスの大ヒットドラマ「ルパン」のセリフを使いながら、フランス語の語彙と文法を楽しくレベルアップしましょう!

毎週、ドラマで使われたセリフの表現法とポイントとなる文法項目を学習していく予定です。

モーリス・ルブランが書いた怪盗紳士アルセーヌ・ルパンから作られた話。主演のオマール・シーはフランス映画『最強のふたり』で世界的にブレイクし、今やフランス国内では、好感度ナンバーワンの呼び声が高い俳優です。仏検、delfのよい準備になります。文法の基礎を復習したり、語彙を増やす絶好の機会です!

映画は字幕付きですので、語彙の心配は要りません!

授業の計画:

春学期

第1回: オリエンテーション、教材の使い方、読み方の復習

第2回: 王妃の首飾り、アサンと元奥さんのクレール 文法: 動詞の現在形

第3回: 共犯者を雇う 文法: 命令法

第4回: 窃盗の計画 文法: 近接未来

第5回: パパカールの新しい雇い主 文法: 場所を示す前置詞

第6回: 首飾りの競売、アサンとジュリエットの出会い 文法: 単純未来

第7回: 価格が上がります、パパカールとペレグリニ夫人 文法: savoirとconnaître

第8回: アサンが落札 語彙: 数字の復習

第9回: 25年前の飾りの盗難 文法: 半過去と複合過去

第10回: 飾りの2回目の盗難 文法: 過去分詞の一致

第11回: 警察の調査が始まる 文法: 否定、rien, personne

第12回: 25年前 アサンへの誕生日プレゼント アルセーヌ・ルパンの小説 文法: n'importe...

第13回: アサンとベンジャミン 文法: 否定疑問の答え方: oui, non, si

第14回: ゲディラ刑事の疑い、アサンと息子 文法: 間接話法

その他: 課題

秋学期

第1回: オリエンテーション、エピソード1の復習

第2回: ベンジャマンと首飾り 文法: 条件法現在

第3回: アンヌとジュリエットペレグリニ 文法: 命令法と代名詞

第4回: ジュリエットとアサン、公園で 語彙: avoir l'air

第5回: パパカールと同じ刑務所にいたコメさん 文法: 関係代名詞 dont

第6回: アサン、刑務所において 文法: 近接過去

第7回: ジュリエットとロジェ警部 文法: 疑問文

第8回: アサンと刑務所の人達 文法: 代名詞の順番

第9回: ゲディラ刑事の個人調査 文法: 比較級 mieux et meilleur

第10回: 病室にコメさんとパパカールの話 文法: 間接話法

第11回: 25年前 アサンが良い学校に入る 文法: 接続法現在

第12回: ジュリエットが疑ってきた、アサン病室に 文法: 副詞

第13回: アサンの自殺 文法: 所有形容詞

第14回: アンヌ・ペレグリニが真実を話す 文法: 代名詞

その他: 課題

*授業内容は必要に応じて変更することがあります。

成績評価方法:

毎週の小テスト

テキスト(教科書):

プリントを配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

毎週、小テストを行います。辞書、文法の教科書を参考することは可。

フランス語第Ⅳ(AⅡ) 1 単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(AⅡ) 1 単位(秋学期)

フランス語で書かれた政治や社会に関する文章を読む
春学期・秋学期：金 5

坂口 周輔

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

フランス語で書かれた政治や社会に関する文章を原文で読んでいきます。18世紀に書かれた文章から始めて、19世紀、20世紀と現代に近づいていきたいと思えます。難易度はやや高めになってしまっていますが心配しないでください。それぞれの文章の抜粋をそれまで習ってきたことをおさらいしながらゆっくりと読み進めていきたいと思えます。授業のやり方としては、みなさんに事前に予習をしてもらって、授業中に一文一文を訳していってもらうこととなります。以上のような講読を通して、フランス語の能力を高めていくとともに、みなさんが法学部の授業で耳にするような著名な人たちの書いた文章に実際に触れていきましょう。

授業の計画:

春学期

- 第1回 イントロダクション
- 第2回 フランス語の文章を読んでいくための準備作業
- 第3回 ジャン＝ジャック・ルソーの文章を読む
- 第4回 前回の続き・文法の復習
- 第5回 前回の続き・総括
- 第6回 モンテスキューの文章を読む
- 第7回 前回の続き・文法の復習
- 第8回 前回の続き・総括
- 第9回 フランス革命期の文章を読む
- 第10回 前回の続き
- 第11回 フランス人権宣言を読む
- 第12回 前回の続き
- 第13回 ヴィクトル・ユゴーの政治的文章を読む
- 第14回 まとめ/試験
- その他 補講

秋学期

- 第1回 春学期のおさらい
- 第2回 ナポレオン三世の文章を読む
- 第3回 前回の続き・文法の復習
- 第4回 前回の続き・総括
- 第5回 ガブリエル・タルドの文章を読む
- 第6回 前回の続き・文法の復習
- 第7回 前回の続き・総括
- 第8回 アンドレ・マルローの文章を読む
- 第9回 前回の続き・文法の復習
- 第10回 前回の続き・総括
- 第11回 現代の政治哲学者の文章を読む
- 第12回 前回の続き・文法の復習
- 第13回 前回の続き・総括
- 第14回 まとめ/試験
- その他 補講

成績評価方法:

平常点(授業参加)40%と授業内試験の結果60%で評価します。

テキスト(教科書):

特にありません。プリントを配布します。

担当教員から履修者へのコメント:

授業は基本的に対面で行う予定です。フランス語能力(とりわけ読解力)をもっと高めつつ、そこに政治学や政治理論も取り込みたいという欲張りな学生、歓迎します(そうではなくてなんとなくという学生ももちろん歓迎です)。

フランス語第Ⅳ(AⅡ) 1 単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(AⅡ) 1 単位(秋学期)

フランス語でラップ!
春学期・秋学期：月 1

関 幸太郎

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

フランス語でラップを自作し、学生さんたちどうしてバトルしていただきます。フランス語の発音やイントネーションのトレーニングも行います。

授業の計画:

春学期

- 第一回 フランス語でラップを作るその1
- 第二回 その2
- 第三回 その3
- 第四回 その4
- 第五回 バトルの練習
- 第六回 バトル
- 第七回 ふりかえり
- 第八回 その5
- 第九回 その6
- 第十回 その7
- 第十一回 その8
- 第十二回 第2バトルの練習
- 第十三回 第2バトル
- 第十四回 ふりかえり
- その他 総括

秋学期

- 第一回 その9
- 第二回 その10
- 第三回 その11
- 第四回 その12
- 第五回 第3バトルの練習
- 第六回 第3バトル
- 第七回 ふりかえり
- 第八回 その13
- 第九回 その14
- 第十回 その15
- 第十一回 その16
- 第十二回 第4ファイナル・バトルの練習
- 第十三回 ファイナル・バトル
- 第十四回 ふりかえり
- その他 総括

成績評価方法:

毎回フランス語でラップを書き、それを発音していただきます。その内容の質を評価します。

テキスト(教科書):

特にありません。必要に応じてプリント配布。

参考書:

なし。

担当教員から履修者へのコメント:

本当にフランス語でラップをやってもらいますからね。実演するんですよ。もちろん、いきなり「じゃあやって」ということではなく、いろいろぼくの方で誘導しますが、それでもやはり、自分の創意に極端に自信が無いとか、人前で声を出すのが苦手、など、あきらかに自分はこういうのに向いていないと思う人には受講はオススメできません。完全参加型授業です。フランス語の発音やイントネーションのトレーニングに興味ある学生さんたち、ラップに興味があるひとたち、お待ちしております!

質問・相談:

お教室で授業時間中に受け付けます。

フランス語第Ⅳ(AⅡ) 1単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(AⅡ) 1単位(秋学期)

春学期・秋学期：木4

ボダン, エマニュエル

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

フランス語会話に必要な基礎知識、日常生活の様々な場面に対応できる自然なフランス語を習得します。会話において基礎文法・基本表現等を応用できる思考力を養うとともに、言語の背景となっているフランス文化に関する幅広く豊かな知識を身につけます。

AⅡのクラスはBのクラスより進み具合は多少早めです。

授業の計画:

春学期

- 第1回 ダイアログ1 (1)
- 第2回 ダイアログ1 (2)
- 第3回 聞き取り1
- 第4回 発表1 (1)
- 第5回 発表1 (2)
- 第6回 歌
- 第7回 ダイアログ2 (1)
- 第8回 ダイアログ2 (2)
- 第9回 聞き取り2
- 第10回 発表2 (1)
- 第11回 発表2 (2)
- 第12回 ダイアログ3 (1)
- 第13回 ダイアログ3 (2)
- 第14回 テスト
- その他 リクリエーションアクティビティ (ゲーム、映画)

秋学期

- 第1回 ダイアログ4 (1)
- 第2回 ダイアログ4 (2)
- 第3回 聞き取り3
- 第4回 発表3 (1)
- 第5回 発表3 (2)
- 第6回 歌
- 第7回 ダイアログ5 (1)
- 第8回 ダイアログ5 (2)
- 第9回 聞き取り4
- 第10回 発表4 (1)
- 第11回 発表4 (2)
- 第12回 ダイアログ6 (1)
- 第13回 ダイアログ6 (2)
- 第14回 テスト
- その他 リクリエーションアクティビティ (ゲーム、映画)

成績評価方法:

平均点と学期末のテスト

テキスト(教科書):

教員が作成した資料を使います。

担当教員から履修者へのコメント:

出席に重視。

フランス語Ⅳ(B)

フランス語

フランス語Ⅳ(B) 1単位(春学期)

フランス語Ⅳ(B) 1単位(秋学期)

バリだけがフランスじゃない

春学期・秋学期：金3

家山 也寿生

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

フランスの地方は、日本のそれに負けず劣らず多種多様です。他方、パリの人口はここ四半世紀で見るとほぼ横ばい状態ですから、日本のような都市部への人口集中は認められません。生まれ育った故郷での暮らしに魅力や充足感を抱く人々が常にいることにその一因があるのだろうか、そう思いたくなるほどにフランスの地方色は色褪せずヴィヴィッドです。本科目では、現地に暮らすのでもなければなかなか触れる機会のないそんな全国津々浦々の地理的・歴史的・文化的な豊かさに迫ります。

授業の中軸となるのは指定教科書のテキスト講読です。そのうえで、関連する映像資料(教員が付けた日本語やフランス語の字幕あり)を毎回視聴して意見や感想を交わしながら、各地域の自然や文化、生活がさらに身近に感じられる時間も毎回設けます。語りつくせない分は、Canvas LMSでのディスカッションによって補完します。

授業の計画:

【春学期】

第1回 イントロダクション&フランスの国土(1/2)

第2回 フランスの国土(2/2)

アニメーション映像: < À quoi sert une région ? >

第3回 ブルターニュ(1/3)

映像: le Golfe du Morbihan et l'Île d'Arz; Saint-Malo

第4回 ブルターニュ(2/3)

映像: les festivals celtes; le fest noz; Huelgoat; les alignements de Carnac

第5回 ブルターニュ(3/3)

映像: la bretonne pie noir et la fabrication du beurre; les châteaux forts de Bretagne et Rennes; le plateau de fruits de mer bretons; les galettes

第6回 ノルマンディー(1/3)

映像: la cathédrale de Rouen; les Falaises d'Étretat

第7回 ノルマンディー(2/3)

映像: la Baie du Mont-Saint-Michel; l'agneau de prés salés

第8回 ノルマンディー(3/3)

映像: la tarte aux pommes de Normandie; les tripes à la mode de Caen; le Pont-l'Éveque

第9回 オ・ドゥ・フランス(1/2)

映像: la Côte d'Opale; les chevrettes du terroir

第10回 オ・ドゥ・フランス(2/2)

映像: la ville de Lille; la mimolette et le maroilles; les moules frites

第11回 グラン・テスト(1/2)

映像: le vignoble de Champagne; la quiche lorraine

第12回 グラン・テスト(2/2)

映像: la Route des Vins d'Alsace; la Grande Île de Strasbourg; la choucroute

第13回 ブルゴーニュ(1/2)

映像: la Route des grands crus de Bourgogne; les Hospices de Beaune

第14回 ブルゴーニュ(2/2)

映像: le bœuf bourguignon; la randonnée avec un âne

その他: 課題

【秋学期】

第1回 “パカ”(1/3)

映像: le parfum de Grasse; le parc naturel régional de Camargue et le riz camarguais; Aix-en-Provence

第2回 “パカ”(2/3)

映像: le palais des Papes d'Avignon; le vieux port de Marseille

第3回 “パカ”(3/3)

映像: la bouillabaisse; les calissons d'Aix; le golfe de Porto

第4回 オクシタニ(1/2)

映像: les glaces de lait de brebis dans les Pyrénées-Orientales; la course camarguaise; le pont du Gard

第5回 オクシタニ(2/2)

映像: Rocamadour; la Cité médiévale de Carcassonne; le gâteau à la broche; le cassoulet

第6回 ヌーヴェル・アキテーヌ(1/3)

映像: le chabichou du Poitou; la porcelaine de Limoges; Bordeaux aux bords de la Garonne

第7回 ヌーヴェル・アキテーヌ(2/3)

映像: la vendange à Saint-Emilion; la dune du Pilat; la grotte de Lascaux

第8回 ヌーヴェル・アキテーヌ(3/3)

映像: l'estivage sur le Plateau de Banasse; le tourteau fromager de Poitiers; l'axoa basque

第9回 ペイ・ドゥ・ラ・ロワール(1/2)

映像: Nantes; l'île d'Yeu; la fouace; la goulaine ou tourte à la poitrine de porc

第10回 ペイ・ドゥ・ラ・ロワール(2/2)

映像: la Vendée vue du ciel; le château d'Angers; l'abbaye de Fontevraud

第11回 サントルーヴァル・ドゥ・ロワール(1/2)

映像: la cathédrale de Chartres; le Château de Chenonceau

第12回 サントルーヴァル・ドゥ・ロワール(2/2)

映像: le Château de Chambord; les rillettes de Tours

第13回 オーヴェルニューロヌ・アルプ(1/2)

映像: le Puy-de-Dôme; Clermont-Ferrand; la potée auvergnate

第14回 オーヴェルニューロヌ・アルプ(2/2)

映像: Lyon; la charcuterie lyonnaise; fondue, raclette et tartiflette; la fauconnerie en Haute-Savoie

その他: 課題

成績評価方法:

春学期: 音読(20%) + 訳読(40%) + 発言&投稿(30%) + 練習問題(10%)

秋学期: 音読(40%) + 訳読(20%) + 発言&投稿(30%) + 練習問題(10%)

そのうえで両学期とも、欠席点(4点/回)を総合得点から差し引く

テキスト(教科書):

『フランス、地方を巡る旅』、Fabienne Guillemin 著、駿河台出版社、2017年、ISBN: 978-4-411-01352-1 C1085

参考書:

『ズーム!—新装改訂版—』、慶應義塾大学法学部フランス語部会、駿河台出版社、2021年、ISBN: 978-4-411-01134-3 C1085

担当教員から履修者へのコメント:

本科目では、きちんと声に出してフランス語が読めるか・そうしようとしてるかを重視します。授業中での音読はもちろん、定期的なテキスト抜粋の音声収録を課題として求めます。そのためのフォローを教員はCanvas LMSで行いますが、しっかり音読できるようにしようとする履修生側の意志もまた履修継続と単位取得とは不可欠です。

フランス語Ⅳ(B) 1単位(春学期)

フランス語Ⅳ(B) 1単位(秋学期)

Parlons français avec Maestro 1

春学期・秋学期: 木3

ヴァリエンス, コリンヌ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

授業の計画:

春学期:

第1回: LEÇON 1(教科書の演習問題)

第2回: LEÇON 2(教科書の演習問題)

第3回: LEÇON 3(教科書の演習問題-会話)

第4回: LEÇON 4(教科書の演習問題)

第5回: LEÇON 5(教科書の演習問題)

第6回: LEÇON 6(教科書の演習問題-会話)

第7回: LEÇON 7(教科書の演習問題)

第8回: LEÇON 8(教科書の演習問題)

第9回: LEÇON 9(教科書の演習問題-会話)

第10回: LEÇON 10(教科書の演習問題)

第11回: LEÇON 11(教科書の演習問題)

第12回: LEÇON 12 (教科書の演習問題-会話)
第13回: レッスン1~12の復習
第14回: まとめ/試験
その他: 課題/補講

秋学期:

第1回: LEÇON 13 (教科書の演習問題)
第2回: LEÇON 14 (教科書の演習問題)
第3回: LEÇON 15 (教科書の演習問題 - 会話)
第4回: LEÇON 16 (教科書の演習問題)
第5回: LEÇON 17 (教科書の演習問題)
第6回: LEÇON 18 (教科書の演習問題 - 会話)
第7回: LEÇON 19 (教科書の演習問題)
第8回: LEÇON 20 (教科書の演習問題)
第9回: LEÇON 21 (教科書の演習問題-会話)
第10回: LEÇON 22 (教科書の演習問題)
第11回: LEÇON 23 (教科書の演習問題)
第12回: LEÇON 24 (教科書の演習問題-会話)
第13回: レッスン13~24の復習
第14回: まとめ/試験
その他: 課題/補講

成績評価方法:

授業への出席、授業と宿題(参加と宿題40%)、期末試験60%で評価されます。

テキスト(教科書):

Maestro 1

Kitamura Ayako - Durrenberger Vincent

Editions Asahi

ISBN : 978-4-255-35307-4

参考書:

辞書

担当教員から履修者へのコメント:

- ・やる気があり、学びたいという気持ちのある生徒に教えることを楽しみにしています。
- ・フランス文化やフランス語を話すことに興味のある学生に教えることを楽しみにしています。
- ・マニュアルと辞書をクラスに持参してください。
- ・遅刻は認められません。
- ・3回以上の欠席は認められません。
- ・1時間程度の準備と復習を行い、各課の準備をしてください。
- ・授業は対面で行います。

質問・相談:

授業中や授業後に生徒の質問に答えます。

フランス語Ⅳ(B) 1単位(春学期)

フランス語Ⅳ(B) 1単位(秋学期)

現代ミステリー作家の短編を読む

春学期・秋学期: 月4

熊木 淳

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

主に現代のミステリー作家13人が寄稿した『13 à table !』のうち、一編の短編を読みます。主にミステリーの分野で活躍する作家で、フランスのベストセラーの作品が収録されています。そのため現代のフランスの文化や社会状況などを色濃く反映した作品が多く、現代フランスを知るよい教材になるでしょう。そのためフランス語の授業や文学作品の講読などでは習わない俗語や辞書に載っていない慣用表現などが頻出するため、そういったものを調べる手段も学びます。またある程度講読が進んだ段階で作品のバックグラウンドにある社会状況や、当該の作家についてなどについて解説を行います。

授業の計画:

春学期:

第01回: イントロダクション・講読箇所決定
第02回: 講読I
第03回: 講読II
第04回: 講読III
第05回: 講読IV
第06回: 講読Vおよびこれまでの講読内容についての解説

第07回: 講読VI

第08回: 講読VII

第09回: 講読VIIIおよびこれまでの講読内容についての解説

第10回: 講読IX

第11回: 講読X

第12回: 講読XI及びこれまでの講読内容についての解説

第13回: 総括・試験

第14回: 試験内容の解説

その他: メール等による質疑応答

秋学期:

第01回: 講読箇所の決定・講読作品についての解説

第02回: 講読I

第03回: 講読II

第04回: 講読IIIおよびこれまでの講読内容についての解説

第05回: 講読IV

第06回: 講読V

第07回: 講読VI

第08回: 講読VIIおよびこれまでの講読内容についての解説

第09回: 講読VIII

第10回: 講読IX

第11回: 講読X

第12回: 講読XIおよびこれまでの講読内容についての解説

第13回: 総括・試験

第14回: 試験内容の解説

その他: メール等による質疑応答

成績評価方法:

学期末に講読のテストを行う予定です。指定のテキストを訳してもらおうことを考えています。具体的には授業内で話し合ったいと思います。

テキスト(教科書):

13 à table !, Pocket, 2014

使用するテキストは上記のものですが、入手困難な可能性もあるので該当箇所をコピーして配布する場合があります。配布方法はいまのところkeio.jpの「授業支援」における「教材配布」欄にて行う予定です。

担当教員から履修者へのコメント:

本学の授業方針に従い原則対面で授業を行います。状況によってはZoomによる授業、あるいはオンデマンド授業に切り替える可能性もあります。その場合直前での変更になる可能性もありますが、なるべくは受講生と相談したうえで方針を決定します。なお、初回は対面授業を予定しています。

フランス語Ⅳ(B) 1単位(春学期)

フランス語Ⅳ(B) 1単位(秋学期)

若者のフランス語

春学期・秋学期: 金5

黒木 朋興

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

20代のフランス人女性がフランス語部分を執筆した教科書を講読する。教科書は対話からなる口語形式の文章と文語形式の文章からなっている。

また、対話文の箇所を使って会話練習も行なう。

上記の文章の読解を通して、「複合過去/半過去」の使い分け、「英語の仮定法とフランス語の条件法/接続法の違い」、「冠詞の使い分け」や「可算/不可算の概念について」などの文法事項を意味の観点から解説する。

内容に関しては、受講者との相談の上、若干の微調整をすることがある。

授業の計画:

春学期

第1回: イントロダクション L1 L2

第2回: L3 不定冠詞

第3回: L4 動詞の活用の基礎

第4回: L5 不定法

第5回: L6 目的語

第6回: L7 冠詞いろいろ

第7回: 進路調整のための予備日とする

第8回：L8 形容詞と語順
第9回：L9 その1 代名動詞
第10回：L9 その2 代名動詞
第11回：L10 その1 受動態／命令法
第12回：L10 その2 受動態／命令法
第13回：L10 その3 受動態／命令法
第14回：L10 その4 受動態／命令法
その他：オフィスアワー／自由研究など

秋学期

第1回：L11 その1 比較
第2回：L11 その2 比較
第3回：L12 その1 単純未来形
第4回：L12 その2 単純未来形
第5回：L13 その1 半過去と複合過去
第6回：L13 その2 半過去と複合過去
第7回：L13 その3 半過去と複合過去
第8回：L14 その1 複合過去の助動詞、être と avoir
第9回：L14 その2 複合過去の助動詞、être と avoir
第10回：L14 その3 複合過去の助動詞、être と avoir
第11回：L15 その1 条件法と接続法
第12回：L15 その2 条件法と接続法
第13回：L15 その3 条件法と接続法
第14回：L15 その4 条件法と接続法
その他：オフィスアワー／自由研究など

成績評価方法：

学期末試験：80%

平常点（出欠含む）：20%

テキスト(教科書)：

『エマのフランス』 Noémie Daniel, 黒木朋興 著 駿河台出版社
2012年

ISBN：4411013452

随時、プリントを配布する。

フランス語Ⅳ(B) 1単位(春学期)

フランス語Ⅳ(B) 1単位(秋学期)

現代フランス語で現代文化

春学期・秋学期：金3

クロズ・山口， エリアンヌ

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

パリ生まれのネイティブとともにフランスの文化、歴史、そして現在のフランスを発見しましょう！フランス人みんなが知っている人物、料理、学校、建物、マンガなどが授業のテーマになります。

学習者のレベルに合わせた語註、文化説明、文法練習問題のある教科書を使用し、分かりやすい授業を目指します。

飲食物、著名人、歴史・制度、産業・教育・労働、言語・メディア・文化、そして日常生活に関するシンボルを理解し、語学レベルを高めるため、次の4つのステップを準備しています：

Lire：テキスト理解のためのアクティビティ

Parler：テーマに基づいたディスカッションを活発にするための質問

Rechercher：テーマ別の簡単な発表を手助けするヒント

Ecouter：話題によってビデオも使います。聞き取る力のup！

授業の計画：

春学期

第1回：Introduction 教材の紹介、文法の復習、フランス語の読み方

第2回：Les fromages チーズ

第3回：文法 代名詞

第4回：Vins et eaux ワインと水

第5回：文法 比較級と最上級

第6回：Concierge

第7回：文法 関係代名詞

第8回：La Tour Eiffel エッフェル塔

第9回：Jeanne d'Arc 歴史

第10回：文法 複合過去と受動態

第11回：Asterix et Obelix 人気なマンガ

第12回：文法 代名動詞

第13回：Louis Vuitton ヴイトン

第14回：まとめ、希望があれば、フランス語検定試験の二次試験の準備

その他 課題

秋学期

第1回：Marianne フランスの象徴

第2回：文法 現在分詞とジェロンディフ

第3回：Edith Piaf フランスの最も有名な歌手

第4回：文法 半過去

第5回：Yves Saint Laurent フランスのファッション

第6回：文法 未来の表現

第7回：Le Tour de France 自転車のレース

第8回：Amélie Poulain アメリ

第9回：Amélie 映画

第10回：文法 条件法

第11回：La République 共和国

第12回：文法 接続法

第13回：Boris Vian 作家

第14回：まとめ、希望があれば、フランス語検定試験の二次試験の準備

その他 課題

成績評価方法：

毎週の小テスト100% (辞書、文法の教科書を参考するのは可能)

テキスト(教科書)：

Clés pour la France, volume 2

Denis C. Meyer / Takashi Kitamura

Hachette 2017年

ISBN978-4-90797-17-8

フランス語Ⅳ(B) 1単位(春学期)

フランス語Ⅳ(B) 1単位(秋学期)

フランス語でシャンソンを作ろう！

春学期・秋学期：水4

関 幸太郎

授業科目の内容・目的・方法・到達目標：

フランス語でシャンソンの歌詞を書き、それにメロディーをつけて歌う。

授業の計画：

春学期

第一回 フランス語でシャンソンを作るその1

第二回 その2

第三回 その3

第四回 その4

第五回 シャンソン・ショーの練習

第六回 シャンソン・ショー

第七回 ふりかえり

第八回 その5

第九回 その6

第十回 その7

第十一回 その8

第十二回 第2シャンソン・ショーの練習

第十三回 第2シャンソン・ショー

第十四回 ふりかえり

その他 総括

秋学期

第一回 その9

第二回 その10

第三回 その11

第四回 その12

第五回 第3シャンソン・ショーの練習

第六回 第3シャンソン・ショー

第七回 ふりかえり

第八回 その13

第九回 その14

第十回 その15

第十一回 その16

第十二回 最後のシャンソン・ショーの練習

第十三回 最後のシャンソン・ショー

第十四回 ふりかえり

その他 総括

成績評価方法:

毎回フランス語でシャンソンの歌詞を書き、発音していただきます。
その内容と質で評価します。

テキスト(教科書):

とくになし。必要に応じてプリント配布。

参考書:

なし。

担当教員から履修者へのコメント:

フランス語の魅力は無限です。メロディーにのせて発音したときの心地よさを一緒に体験しましょう。シャンソンっぽい歌詞の作り方や、メロディーのつけ方など、ぼくが誘導いたしますが、それでも、自分は音楽が嫌いとか、人前で声を出すのが苦手など、この手のものに自分が向いていない、という学生さんにはこの授業はオススメできません。フランス語の発音やイントネーションに興味がある学生さんたち、シャンソンをお好きな方々、お待ちしております♪

質問・相談:

お教室で授業時間内に受け付けます。

フランス語Ⅳ(B) 1単位(春学期)

フランス語Ⅳ(B) 1単位(秋学期)

フランス語会話・表現練習

春学期・秋学期: 月1

ブレッツフェル, ロミュアルド

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

フランス語会話に必要な基礎知識、日常生活の様々な場面に対応できる自然なフランス語を習得します。会話において基礎文法・基本表現等を応用できる思考力を養うとともに、言語の背景となっているフランス文化に関する幅広く豊かな知識を身につけます。

授業の計画:

【春学期】

- 第1回 自己紹介
- 第2回 趣味と興味は?
- 第3回 住まいの環境について話そう
- 第4回 家族について話そう
- 第5回 典型的な一日
- 第6回 週末の過ごし方
- 第7回 国内と海外旅行
- 第8回 よく出かける場所はどこですか?何をしますか?
- 第9回 出身地は?
- 第10回 フランスと日本との違いは?
- 第11回 フランスと日本との共通点は?
- 第12回 まとめ
- 第13回 口頭試験
- 第14回 フランス映画
- その他 課題

【秋学期】

- 第1回 復習
- 第2回 休みの間何をしましたか?
- 第3回 経験について話そう
- 第4回 10年前のあなた
- 第5回 スマホとあなた
- 第6回 自分の意見を伝える
- 第7回 賛成・反対
- 第8回 フランス人とカフェ
- 第9回 幸せって?
- 第10回 もし〜がたくさんあったら
- 第11回 フランス人との挨拶
- 第12回 まとめ
- 第13回 口頭試験
- 第14回 フランス映画
- その他 課題

成績評価方法:

各学期(春・秋)の中間・期末試験ならびに平常点(出席点、遅刻数、授業態度)により評価します。

テキスト(教科書):

授業中に配布するプリント。

担当教員から履修者へのコメント:

毎回の予習、復習は勿論のこと、授業への積極的な参加が望まれます。

すべての回は対面授業で行います。

フランス語Ⅳ(B) 1単位(春学期)

フランス語Ⅳ(B) 1単位(秋学期)

春学期・秋学期: 金4

ボダン, エマニュエル

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

フランス語会話に必要な基礎知識、日常生活の様々な場面に対応できる自然なフランス語を習得します。会話において基礎文法・基本表現等を応用できる思考力を養うとともに、言語の背景となっているフランス文化に関する幅広く豊かな知識を身につけます。

BのクラスはAIIのクラスより進み具合は多少ゆっくりめです。

授業の計画:

春学期

- 第1回 ダイアログ1 (1)
- 第2回 ダイアログ1 (2)
- 第3回 聞き取り1
- 第4回 発表1 (1)
- 第5回 発表1 (2)
- 第6回 歌
- 第7回 ダイアログ2 (1)
- 第8回 ダイアログ2 (2)
- 第9回 聞き取り2
- 第10回 発表2 (1)
- 第11回 発表2 (2)
- 第12回 ダイアログ3 (1)
- 第13回 ダイアログ3 (2)
- 第14回 テスト
- その他 リクリエーションアクティビティ (ゲーム、映画)

秋学期

- 第1回 ダイアログ4 (1)
- 第2回 ダイアログ4 (2)
- 第3回 聞き取り3
- 第4回 発表3 (1)
- 第5回 発表3 (2)
- 第6回 歌
- 第7回 ダイアログ5 (1)
- 第8回 ダイアログ5 (2)
- 第9回 聞き取り4
- 第10回 発表4 (1)
- 第11回 発表4 (2)
- 第12回 ダイアログ6 (1)
- 第13回 ダイアログ6 (2)
- 第14回 テスト
- その他 リクリエーションアクティビティ (ゲーム、映画)

成績評価方法:

平均点と学期末のテスト

テキスト(教科書):

教員の作成した資料を使います。

担当教員から履修者へのコメント:

出席に重視。

フランス語第Ⅳ(B) 1単位(春学期)

フランス語第Ⅳ(B) 1単位(秋学期)

フランス社会を知る
春学期・秋学期：水5

山上 昌子

授業科目の内容・目的・方法・到達目標:

政治、経済、文化、歴史等、様々なトピックによってフランスの現代社会を考えると共に、単に辞書で調べた訳語を適宜並べるのではなく、文の構造を意識して、応用のきく確かな力をつけることを目的とします。

授業の計画:

【春学期】

- 第1回 インTRODakション／フォション
- 第2回 フォション
- 第3回 ソルボンヌ
- 第4回 ソルボンヌ／5G
- 第5回 5G
- 第6回 ジュリエット・グレコ
- 第7回 ジュリエット・グレコ／コロナ時代のフランス
- 第8回 コロナ時代のフランス
- 第9回 動物のいないサーカス
- 第10回 カリカチュア
- 第11回 山下朝史 --- 野菜の声を聞く男
- 第12回 父親の育児休暇
- 第13回 失業
- 第14回 総括・試験
- その他 課題

【秋学期】

- 第1回 復習／ラジオ・フランス
- 第2回 ラジオ・フランス
- 第3回 マリー・アントワネット、ポップなアイコン
- 第4回 マリー・アントワネット、ポップなアイコン／ボランティエ
- 第5回 ボランティエ
- 第6回 ゴラ、作家にしてジャーナリスト
- 第7回 ゴラ、作家にしてジャーナリスト／リヨン
- 第8回 リヨン
- 第9回 ドローン・ELIOS
- 第10回 ピエール・スーラージュ
- 第11回 モンマルトルのサクレ=クール寺院
- 第12回 サバイバルズム
- 第13回 ミシュリーヌ・オステルメイアー、アスリートにしてピアノの名手
- 第14回 総括・試験
- その他 課題

成績評価方法:

学期末試験70%、授業時の応答30%で評価します。

テキスト(教科書):

『時事フランス語 --- 2022年度版』 石井洋二郎・ミシェル・サガズ
著 朝日出版社 2022年
ISBN: 978-4-255-35333-3 C1085

担当教員から履修者へのコメント:

- ・授業は対面で実施します。
- ・3回以上欠席した学生には追加レポートが課されます。それを提出しなければ試験を受けることはできません。
- ・文の構造を意識し、丁寧に読む習慣をつけましょう。
- ・今年度も状況に応じて変更が生じる可能性があります。教室での連絡やCanvas LMS上のお知らせに注意して下さい。

質問・相談:

授業の前後、教室で受け付けます。遠慮なく質問して下さい。Canvas LMSからメッセージを送ってくださっても構いませんが、すぐに返信できない場合があります。